

第4回産学官連携推進会議分科会 「HVCが考える地域クラスター強化」

1. 外貨を稼ぐ産業を作る
2. 北海道ベンチャーキャピタルとは？
3. ITクラスターの活性化
4. バイオクラスター、大学が企業を惹きつける

北海道ベンチャーキャピタル(株)

松田一敬

2005年6月25日

北海道の特徴

人口は570万人・GDPは20兆円
デンマークをほぼ同じ、面積は倍

ただし

大きな域際収支の赤字 (GDPの13%)
これを埋めていた中央からの資金はいずれ枯渇
日本から独立しても生きていける北海道に

自ら外貨を稼ぐ産業を
成長産業におけるクラスター形成への期待
その担い手の1つであるベンチャーへの期待

北海道ベンチャーキャピタルとは？

HVC:Mission

- 外貨を稼げる産業を育成する
- 世界を目指す企業の発掘育成を目指す
- 技術志向のベンチャーをマーケット志向のベンチャーへ転換させる
- 地域資金の地域還流、富の再生産
- 面としての北海道の底上げ、魅力を高め道外から資金を呼び込む
- 産学連携の推進、新たな付加価値創造
- 従来北海道になかった金融機能、ファイナンス手法を導入
- 地域における共生を念頭においた企業育成
(北海道のパイが大きくなれば皆が恩恵を受ける)

札幌のITクラスター：強みと弱み

- 強み
 - 企業の集積がある。産業規模3000億円
 - マイコン元年から常にIT先端地域である。
 - 支援機関の集積がある。
 - 大学・研究機関等の集積がある。
- 課題
 - クラスター内に大きな市場が存在しない。
 - 「下請け」の立場の企業が多い。
 - マーケットを意識していない。企業というより職人。
 - 「産」・「学」・「官」の連携を最大限に利用していない。

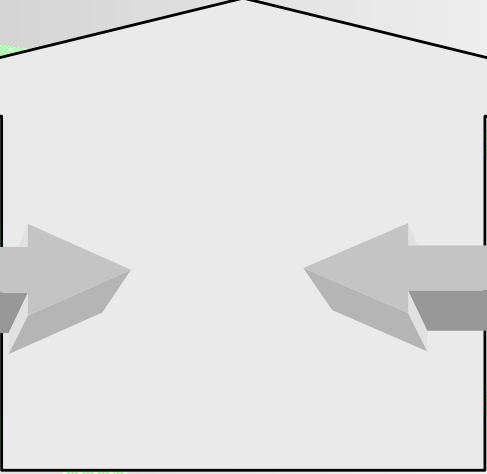
ITカロッツェリアのコンセプト

戦略的に上流工程に食い込む仕組みづくり
ツール: 知的クラスター創生事業

札幌ITカロッツェリアの実現
～ 下請けから上流工程への働き掛け～

**プロジェクト
マネジメント**

開発工程の標準化・可視化
プロトタイプ化



**ユーザビリティ・
デザイン**

なぜデザインか？
IBM ThinkPad, ソニー、
NOKIA、Palm
札幌デザイン戦略

札幌の蓄積
～ ITものづくりの要素技術と経験～

ユーザビリティで国内の最先端に

ソフトウェアの手戻り率の低下、要求定義の改善

- 小樽商科大学ユーザビリティ・ラボ
 - 日本最大級の施設
 - 最先端の研究の適用



世界の中の組込関連のトップへ

■ 既存市場は未開拓 どこまで狙うか？

■ 全国で約2兆円、技術者約15万人

(資料: (独)情報処理推進機構 講演資料)

■ 北海道の情報関連産業の売上高は約3,000億円、従業員1万7千人

■ 約25%が組込関連の業務を実施

(表46) 16年度組込技術(エンベデット)関連の仕事について

	組込技術関連の仕事を行っている	組込技術関連の仕事 を今後行う予定	組込技術関連の仕事 は行っていない	合 計
目録企業全体	64社(18.2%)	18社(5.1%)	269社(76.7%)	351社(100%)
道内企業	48社(16.2%)	15社(5.1%)	233社(78.7%)	296社(100%)
道外本社事業所	16社(29.1%)	3社(5.5%)	36社(65.4%)	55社(100%)

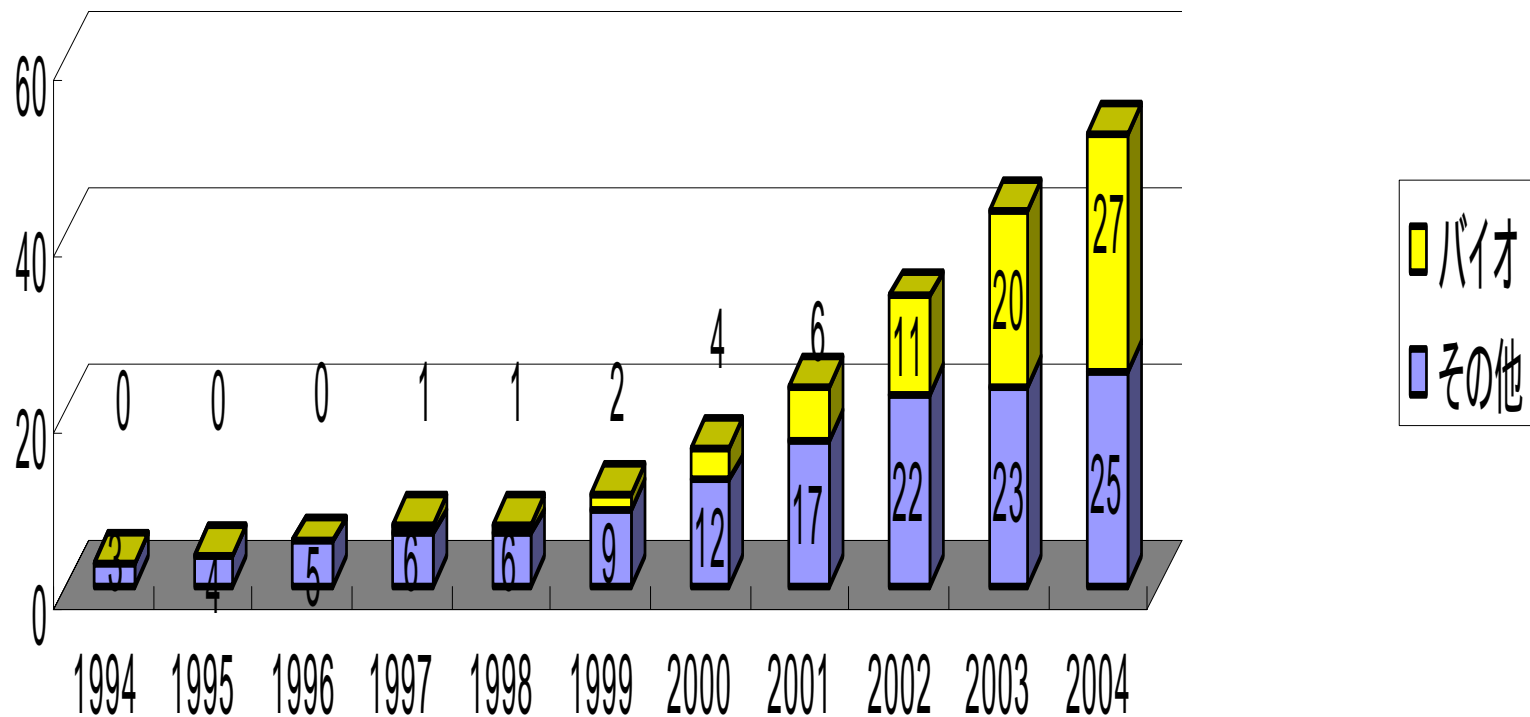
(資料: 「北海道ITレポート2004」)

IT&バイオクラスター強化へむけての環境整備

最近の事例

- 札幌元気テクノロジー・ファンドの設立
起業支援・資金提供 2005/5
- 北海道ハイテクポータル開設
道外・海外への情報発信 2005/8
- 札幌市立大学の設立
デザイン戦略の強化 2006
- 調達基準へのユーザビリティの導入
北海道庁 2005/4

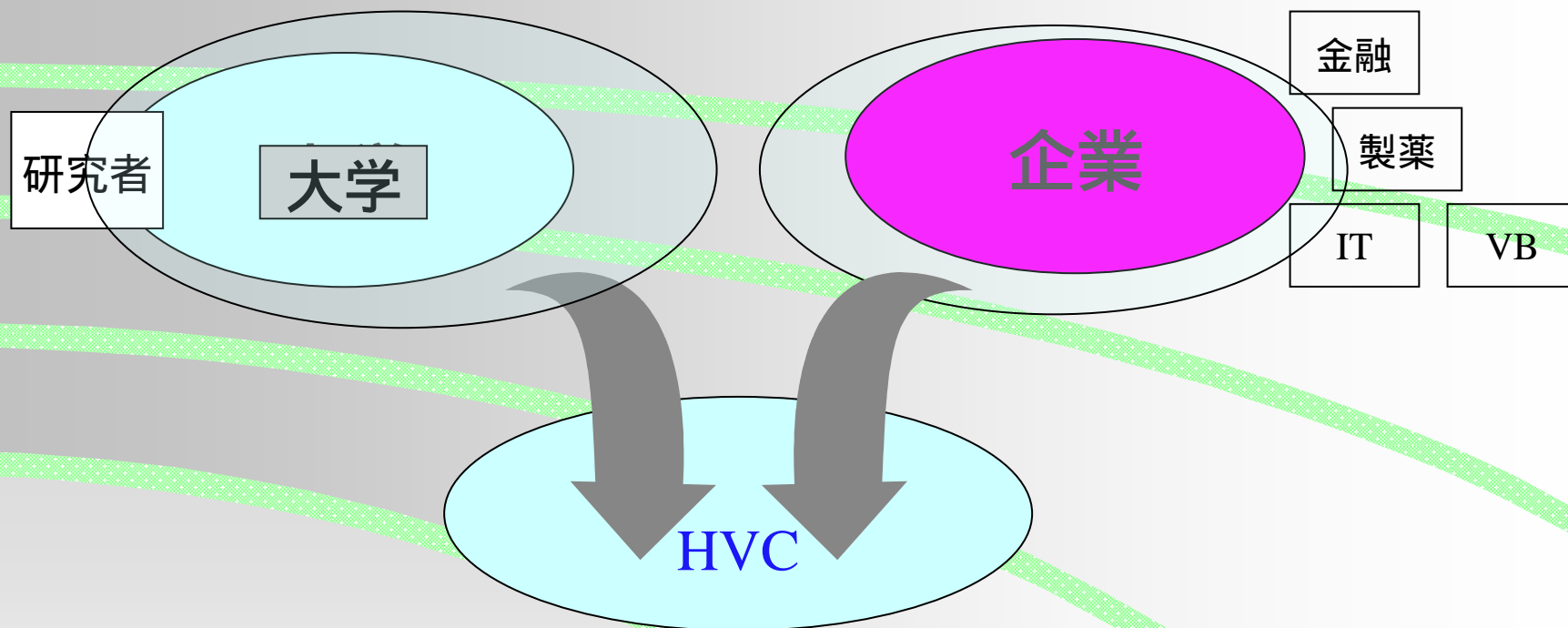
バイオクラスターの形成：大学発バイオベンチャー数の推移



(株)HVC戦略研究所がめざすもの



大学や企業から Marginal people (not in main stream)が浸みだしてくる
用心棒型、高い専門能力が自然に集まってくる
地域、分野を越えてHVCがハブとなってネットワークが広がる



組織の外側でのビジネスプラン、知的財産の創造、仮想起業
Independent Contractorとして活躍
リアルラボ・ウェットラボを兼ね備えたテクノロジーインキュベーション